

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 輝なっせ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数) 41名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の親子療育の実施	・単独療育の際のお子さんの様子を伝えるだけでなく、強みや特性に合った関わり方、成功体験を伝える事で、家庭での般化に繋げやすい視覚的ツール等を用いて、具体的に伝えるよう努めている。	・親子療育の際、もっとご家族同士の関わりが出来るよう「ピア活動」にも積極的に取り組む予定。
2	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインに沿った「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもさんの支援に必要な項目を療育チームで検討し選択、具体的な支援内容を設定している	・ニーズ整理表やご家族の聞き取り、アセスメント表を鑑み、児発管が原案を提案し、療育メンバーで具体的な支援内容等を検討し個別支援計画を作成している。 ・見立てを行い、療育スタッフ全員がそれぞれの見方での意見を出し合い、次の支に活かせる振り返りを実践している。 (PDCAサイクル)	・幼児期の子どもさんの意思の尊重を重きに考え、寄り添った計画内容であり、「やってみよう!」「楽しい!」に繋がるよう心掛ける。
3	経験年数のあるスタッフの配置	・チームでのスキルアップを意識して療育を実施しており、個々でのスキルアップをチーム全体でのスキルアップに繋げる意欲が強い。	・今後も、柔軟性を持った考え方で、スタッフ間でのコミュニケーションを図り、ご家族や関係機関との連携にも相乗効果となるようチームビルディングを高める。 ・ベテランスタッフは、育成を通して更に、コミュニケーション能力や育成能力の向上に期待している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・安全計画に基づいた各種訓練や事故防止マニュアル、緊急時他風マニュアル、防犯マニュアル等の整備を行っているが、保護者の皆さんへ周知や説明が不十分である。	・安全計画においては令和5年度より整備しており、各種訓練においては紙面にて実施後、写真付きで周知しているが、マニュアル等は玄関に設置している。全ての保護者の皆さんが確認しやすい状況ではない為、工夫が必要。	・訓練等は、保護者の皆さんへ紙面にて報告・周知を行っているが、年度末の実施となり、周知までに至っていないあった。来年度は、早期に行う予定。マニュアルについては、全ての保護者の方に確認して頂ける方法を精査する。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	・地域の行事等に参加するきっかけや当センターの事を知って頂く機会が少ない。	・地域の広報誌等を使って、当センターの取り組みのお知らせが出来ないか等、提案する予定。 ・地域の方をお誘いできる行事等を考えていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 輝なっせ

公表日 2026年 3月 日

利用児童数 59名

回収数 41

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	2			・楽しんで伸び伸びと活動できています。 ・トランポリンや身体全身を使った運動を十分行えるスペースで子ども喜んでる。 ・人数が多い時は危ないなど感じる事も有る。 ・走れるくらいの部屋で療育して頂いています。	・クラスの人数や子どもに合わせ部屋の調整を行い活動を行っている。 ・スペースが確保できない場合は部屋を分けるなどの対応を行っている。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	39	1		1	・いつでも安心して通えています。 ・しっかり見て頂き、安心しております。 ・子どもの数に対して職員の数は足りていると思う。	・1クラスの人数を配置上対応可能な人数で調整をし療育を行っている。 ・子どもの調子によっては個別に対応できるように調整もやっている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39	2			・どの職員さんも対応して頂けて、担当の職員さんがお休みでも安心して通うことが出来ています。 ・子どもも迷うことなく、分かりやすいと思います。バリアフリーになっています。 ・定期的に模様替えがあり、子ども達に分かりやすいと思う。	・環境調整として気になる物は部屋から撤去もしくは、パーテーション等を使用し目隠しをする等で対応している。 ・子どもの年齢に合わせ、活動の内容や遊びを提供している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41				・活動に応じて色々な形に机やイスの場所を変えてくださっています。 ・皆で過ごす部屋と1人で静かに出来る空間が分かれていた。落ち着くのに良い。 ・親子療育で行かせて頂く時、いつもきれいで清潔だと思えます。 ・ティッシュペーパーが少なくなった時に取りにくいのでケースがあると子ども取りやすくなる気がします。	・必要に応じてパーテーションを使用し過ごしやすい環境設定を行っている。 ・毎回療育後は掃除、消毒を行い快適に過ごせる空間をつくっている。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39	1		1	・とても細かい所まで対応して見て頂けて安心してお任せすることが出来ています。 ・子どもの好きな事、苦手な事を成長と共に把握して下さるので、無理せず楽しみながら取り組んでいます。 ・皆で行う活動と1人で行う活動でメリハリをつける練習になった。 ・しっかり子どもの性格や特徴を理解して頂いて支援やアドバイスしてもらっている。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39			2	・合っています。		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	40				1	・集団の中で活動できるよう、座る為の工夫や手が空いている時の時間つぶしなど、子の特性に合わせた計画が立てられている。 ・十分理解して頂いて作成して頂いています。	・利用前に保護者からニーズの聞き取りを行い、職員間で分析を行いその子に合う個別支援計画を作成している。 ・保護者だけでなく、了承を得て保育園とも何を目標に取り組んでいるのかを共有している。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38				3	・とても考えて頂いて満足しています。 ・その時の子どもの成長に合った支援と課題を無理のないように出して下さるので子ども嫌がらず通所できています。	・利用前に保護者からニーズの聞き取りを行い、職員間で分析を行いその子に合う個別支援計画を作成している。 ・療育を行う中でその子に合う支援方法を探し支援を行っている。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39				3	・とても満足しています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1			4	・療育に行くようになってまだ月日が経っていないのでわかりません。	・年齢や子どもに合わせ、段階を踏んだ内容を取り入れている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	18	10	2	11	・そうした活動があるのかが分かりません。 ・保育園に行っています。	・昨年度、事業所交流を目的とした運動会を開催している。 ・今年度は、地域の園や学校関係者へ案内させて頂き、自由見学会を開催し、多数参加して頂いた。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41				・しっかり説明して頂きました。	・契約書に記載しており、契約時に口頭でも説明を行っている。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41				・説明して頂きました。		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	6		5	<ul style="list-style-type: none"> 週に一回、親子療育があり先生方にアドバイスを頂いております。 親子療育で親子共々学ばせてもらっています。 必要としている最適な情報を事前に提供してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 年に一度ペアレントトレーニング講座を行っており保護者へ案内をし参加の希望を募っている。 講座への参加が難しい保護者には、日頃親子療育の中で話を伺い家庭で取り入れられそうな支援を提案している。 	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの細かな様子を聞いて親では目に付かない長所等にも気づけました。 家庭での困り事等その子に合った提案やアドバイスをして下さり、家族に寄り添ってくださいます。 単独療育の様子もしっかり報告して頂き、子どもの事も相談しやすいようにして頂いています。 親子療育で伝え合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の様子を連絡帳やメールで保護者へ共有できるような努めている。 親子療育へ参加が難しいご家庭へは連絡帳を通してのやり取りをメインで行っている。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	3			<ul style="list-style-type: none"> 困った事や不安な事をしっかり聞いてくださり対応の仕方などもしっかり教えてくださっています。 アドバイスを頂いたり、感謝しております。 家庭でどうして良いか分からない時にすぐ助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子療育で直接話を聞く機会があり、日頃ご家庭での様子を伺い、その場で情報共有を行うことが出来る。 希望があれば療育時間外での面談を行い、子育てについての話やその他の相談ができる機会の提供も行っている。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41				<ul style="list-style-type: none"> 親身になって聞いて頂けているのでとても助かっています。 とても子供の事を考えて支援して支援して頂いています。 		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	5	1	13	<ul style="list-style-type: none"> 掲示版に張り出されているので、ちょこちょこ読んでいます。 夏祭りは毎年、家族で参加を楽しみにしています。子ども達も毎回、喜んでます。 運動会等で交流できた。 親子療育で保護者同士の交流の機会が設けられていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から親子で参加できる場所を増やし、保護者同士で交流できる機会を取り組んでいる 日頃、親子療育で同年代の保護者同士が交流できるよう職員が間に入り関わりの場を設けているが、全クラス合同で親子参加型の企画を行う事でさらに保護者同士で子育てや就学について話をする機会も場となっている 	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40				1	<ul style="list-style-type: none"> いつも、連絡したらすぐに対応してくれて安心しています。 相談しやすく、適切にアドバイスを下さり感謝しております。 	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	1				<ul style="list-style-type: none"> 親では気づけない子どもの様子をしっかりと伝えて頂いています。 配慮されています。 LINEでのやりとりが出来るので細かく連絡してもらい助かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から連絡帳を通して情報共有を行っている。 内容によっては、メールや電話等にて連絡を行い情報共有に努めている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	3	1	3		<ul style="list-style-type: none"> 前日に連絡が入るので子どもに「明日は〇〇するみたいだよ」と伝える事が出来ています。 インスタに子どもの活動がアップされると嬉しいです。 して頂いています。 もう少し、活動内容やどんな様子で取り組んでいるのかわかってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の様子を連絡帳やメールで保護者へ共有できるよう努めている。 法人のFacebookやInstagramでの発信も個人情報に留意し、定期的に行っている。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41					<ul style="list-style-type: none"> 特に何か問題を感じたことはありません。 留意されていると思います。 		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3		11		<ul style="list-style-type: none"> 保護者である私がちゃんと把握できていないのでわかりません。 説明されています。 怪我をしても先生方が落ち着いて対応して下さるので慌てずにいられます。訓練がいつあっているかは分かりません。 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1		16		<ul style="list-style-type: none"> 保護者である私がちゃんと把握できていないのでわかりません。 療育に行くようになってまだ月日が経っていないのでわかりません。 	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	2		3		<ul style="list-style-type: none"> 保護者である私がちゃんと把握できていないのでわかりません。 安心しております。 	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	1		3		<ul style="list-style-type: none"> 活動中の怪我やそう至る過程はその都度説明して頂いています。 こけたりしたら報告してもらい安心しています。 連絡をもらったので、その後の様子を注意して見る事が出来た。 	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	41					<ul style="list-style-type: none"> その日の活動で楽しかったことを聞くとうれしそうに教えてくれています。 直ぐ療育にも慣れて療育が楽しみで仕方がないようです。 ニコニコしているので、安心していただいています。 	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	2	1			<ul style="list-style-type: none"> 先生方と遊ぶのも活動も楽しみにしているようです。 保育園の友達と遊ぶのが悲しいらしい。 毎回、楽しみにしています。帰ってからたくさん話してくれます。 療育の日は「今日輝かせて〇〇したよ」等楽しみに報告してくれます。 	<ul style="list-style-type: none"> 行き渋りがあるとされる事も多い為楽しく参加できる様な支援内容を考え取り入れていく。 単独療育への参加を拒否する子どもさんへは無理せずその子に合わせたペースで保護者送迎で来所してもらおうと保護者と相談し取り組んでいる。

	29	事業所の支援に満足していますか。	41		<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。 ・家庭での困りごとにもいつもご相談に乗って下さり、家族で頑張れそうです。 ・先生方のお陰で成長を感じる事が多く、本当に感謝しております。 ・とても満足しています。 ・ちょっとした疑問や心配事も、親身になって聞いて頂けるので安心して利用することが出来ています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も満足してもらえるように、支援や寄り添いを行います。
--	----	------------------	----	--	---	---

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センター 輝なっせ					公表日	2026年 3月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・令和7年4月から公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			・利用児メンバーは地域の園を利用しており、単独療育時の送迎時に活動の様子や園での様子を伺い情報の共有を行っている。 ・必要に応じて、担当者会議や園へ訪問させて頂き、先生方と支援の方法等を一緒に検討している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			・関係機関や保護者からの要望があった際に行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	9			・支援の質やチーム力向上の為、定期的に児童発達支援の専門職に来て頂き療育の様子やスタッフの動き等の指導を頂いている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	9			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		・利用児メンバーは地域の園を利用しており、地域の中で日常活動していることもあり、交流の機会は設けていない。 ・昨年度は、地域の事業所との交流会（運動会）を行った。今年度は、地域の園や学校関係者の方々へ案内をさせて頂き、自由見学会を開催し、多数参加頂いている。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			・単独療育の様子等、親子療育の際お伝えし共有に取り組んでいる。 ・必要に応じて、個別に連絡をし電話やメールで情報共有もしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			・センターとして年に一度、圏域にも案内しペアレントトレーニングを開催している。 ・開催に伴い、（関係機関に）オブザーバーや受講される保護者への声掛けを数か月前から始め参加者を募っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			・保護者からの聞き取りが主であるが好きな事、得意である強みを活かした計画を作成している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			・親子療育や必要に応じて訪問や面談をおこない支援を実施している。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・親子療育や必要に応じて訪問や面談をおこない支援を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	・親子で取り組むクッキング等を開催し交流する機会を設けている。	・就学以降も繋がりが継続できるよう、今後も親子での企画型活動を提案させて頂く。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・対応としては面談や訪問させて頂き、迅速に対応している。親子療育で振り返りを行う等迅速に対応するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・安全計画に基づいた訓練やマニュアルの整備を各種委員会で実施、更新等に取り組んでいる。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	・BCPの策定及び避難訓練も定期で実施している。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・医師の指示書のある方は現在いらっしゃらない。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			・周知しやすい方法を検討したい。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・法人でも虐待防止研修等に取り組んでいる。	・事業所でも勉強会を開催している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		・身体拘束についての考え方や適正委員会等の取り組みについても説明し、児童発達支援計画に記載している。		